

産油国との信頼関係を基盤に、  
石油開発を拡大し安定供給につなげます。

## 産油国アブダビと築いた信頼関係

コスモ石油は1967年、アラブ首長国連邦(UAE)アブダビ首長国での利権を獲得し「アブダビ石油株式会社\*」を設立し、以来、40年以上にわたり同国内の3油田で生産を行い日本に向けて出荷してきました。その間、アブダビ石油では石油行政を担うアブダビ国営石油と緊密な協力関係を構築するとともに、アブダビ首長国を中心に、人材派遣や技術提供をはじめ、文化交流、UAEの若年層向け日本語教育支援や短期留学プログラムを進めるなど、産油国との友好関係の構築に力を注いできました。こうした活動が認められ、2012年12月に既存3油田の利権を更新した上で、さらに隣接する新鉱区ヘイル油田の利権を取得することができました。コスモ石油グループは産油国との信頼関係を基盤にさらに開発事業を進め、エネルギーの安定供給に寄与していきます。

\* コスモ石油グループ出資比率 63%



**リフト (海洋坑井掘削装置)**  
坑井の掘削や補修などを行う特殊装置



**CFP (海上集油基地)**  
各生産井から生産された原油を集めムバラス島へ送る中間基地



## 新鉱区「ヘイル油田」開発が進捗

「ヘイル油田」は、油田から産出する原油の集積・出荷基地であるムバラス島の南に位置し、既存3油田と同程度の日量約2万バレルの生産が見込まれています。2014年の着手以来、順調に開発が進み、現在は2016年度中の生産開始をめざし、リフト(坑井掘削装置)を通すための水路浚渫や人工島の造成を進めています。

### 「ヘイル油田」開発スケジュール

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
探 鉱	3D震探	データ解析		
開 発	基本設計	水路浚渫・人工島建設	地表設備建設	
		掘削準備	掘削開始	生産開始

## 持続的な生産量拡大に向けた開発

コスモ石油グループのカタール石油開発株式会社が2006年から生産を開始しているカタール国沖合の油田では、日量約9,000バレルの生産をめざし、増産のための追加開発を進めています。

(2015年10月1日新任予定)



コスモ石油グループにおいて、収益面で貢献度の高い上流事業である石油開発を今後も維持、発展させることが私たちの使命であり、それを実現する道筋の中核は、権益の更新を終えたアブダビ石油です。同社が新たに獲得したヘイル油田の生産を予定通りに開始し、2020年頃には既存の油田を含めて、同社の生産量を現在の倍の日量4万バレルにする。また、ほかの2操業会社（合同石油開発、カタール石油開発）の利権は2018年と2022年にそれぞれ期限を迎えますが、維持する方向で検討、対応していきます。さらには将来を見ずえて、2014年に戦略的提携関係を結んだCEPSAと連携し、アブダビを含め新たな上流利権、資産の獲得も模索していきます。

### 新たな権益取得に向けて関係を強化

コスモ石油は、2014年1月、同じIPICグループでスペインを代表する総合石油会社CEPSA\*（セプサ）と戦略的包括提携合意契約を締結し、石油関連事業において共同で事業機会の発掘にあたるなど、事業拡大に注力していきます。またさらに、2014年11月には、アブダビ石油の持株会社として新設した「コスモアブダビエネルギー開発株式会社」の株式の一部をCEPSAに譲渡しました。今後、両社は新会社の運営を通じて、アブダビ石油でのプロジェクト推進強化および新規権益の獲得などをめざしていきます。

\* IPIC出資比率 100%



CEPSA 調印式



#### ムバラス島

既存3油田とヘイル油田で生産される原油はすべてパイプラインを通じてムバラス島に集積し、精製、出荷



アラブ首長国連邦  
アブダビ首長国

### アブダビの環境保全に貢献

アブダビ石油では環境保全にも力を入れ、開発事業においては、油田から原油生産に伴って出る随伴ガスを地中に再圧入するプロジェクトを進め、2001年には3油田のゼロガスフレアリング化\*1を達成。大気汚染の防止と温室効果ガスの削減に貢献しています。また、マングローブの植林をはじめ、生活排水を浄化処理して植栽に散水するなど、不毛だったムバラス島の緑化に積極的に取り組んできました。こうした長年にわたる活動が認められ、2014年度「ADNOC HSE AWARD\*2」HSE Performance賞を受賞しました。

- \* 1 フレアリングとは随伴ガスを焼却処理すること
- \* 2 アブダビ国営石油会社（ADNOC）による「健康・安全・環境」活動に対する表彰制度



アブダビ石油が植林したマングローブ



HSE Performance賞受賞式典